

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2019-1025	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:三世代コホート調査参加者全員 試料:なし 情報:基本情報(年齢、性別、続柄)、調査票情報、カルテ転記情報、母子健康手帳情報、乳幼児健診情報、学校健診情報、生理学的検査情報	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	カリフォルニア大学サンフランシスコ校	
研究題目	小児肥満予測モデル構築のための国際共同研究			研究期間	2020年3月～2021年3月	
実施責任者	小原 拓	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	准教授
研究目的と意義	東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査のデータから小児期の肥満と関連する要因を検討し、それらを組み合わせることで小児肥満を予測する方法を構築することが本研究の目的です。					
研究計画概要	本研究では、東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査に参加している方を対象に行います。具体的には、児・同胞として登録されている方々の出生～現在までの体格と関連するご本人・ご家族の調査票等の項目を検討します。研究に使用する情報は三世代コホート調査で既に収集済みの情報のみを用います。さらに、国際共同研究先に解析結果のみを提供して国際的な小児肥満予測モデルの構築を検討します。					
期待される成果	小児期の肥満は、青年期および成人期まで持続し、様々な健康被害の原因となり得るため予防が重要です。複数の危険因子による相互作用の重みを考慮したうえで、小児期の肥満リスクを推定する予測モデルの構築することは、小児期の肥満の予測・予防のための介入に有用であると考えられることから、本研究結果は母子保健行政へ直接的に還元可能な成果となります。					
これまでの倫理 審査等の経過	2020年3月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	ヒトを対象とする医学系研究の倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針、ToMMoセキュリティポリシーを遵守して研究を遂行します。また、情報は、高度なセキュリティが担保されたスーパーコンピュータ内で管理・解析を行います。共同研究先に試料・情報は提供せず、解析方法の助言や解析結果の検討を挙動で行うこととしております。					
その他特記事項	東北メディカル・メガバンク事業					
* 公開日	令和2年4月15日					